

## 中高生・アフタースクールプログラム 活動報告

【7月29日(水)】

・オープニング

・国立科学博物館の展示見学

・レクチャー 小川義和(国立科学博物館 学習企画・調整課長)

昨年度「水」をテーマに活動した中高生・アフタースクールプログラム、今年度のテーマは「エネルギー」です。

中学生13名、高校生10名がこれから約半年間エネルギーと展示作りについて学習し、その成果を元に展示を製作します。さらに製作した作品は国立科学博物館に展示されるとともに、一般来館者の方々に向けて発表会形式の解説を行います。

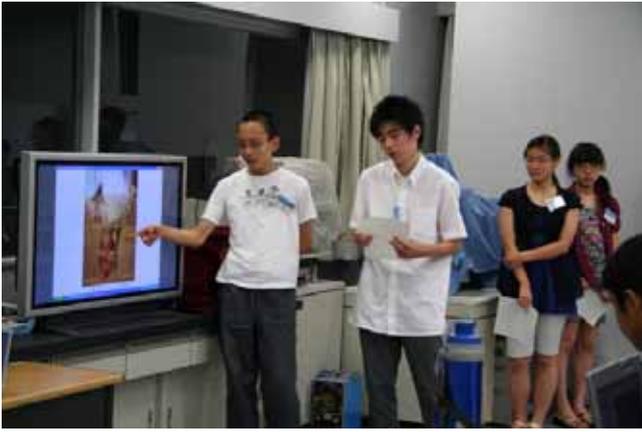
学習成果を見学者の方々にわかりやすく伝えるための展示を作るため、みんなで協力しながら活動を進めましょう！

芸術系大学生サポーターも中高生の活動を手助けします。



国立科学博物館、北見理事から参加者の中高生に向けてオープニングのメッセージ。

「これから4ヶ月間、実りの多い活動になるように頑張ってください。」



国立科学博物館の展示を班ごとに見学し、その特徴や工夫について考察した結果を写真等を使って他の班に向け解説しました。



国立科学博物館小川学習企画・調整課長のレクチャー。  
参加者各自が「エネルギー」について思いつく言葉を関連性を持たせながら書き出し、他の人と比較しました。  
「エネルギーと一言で言っても、人によりさまざまなイメージ・概念の違いを持っています。自分だけでなくみんなのアイデアを活用して、展示製作に望みましょう。」